

10月5日(木)

3歳：好きな遊びを繰り返し楽しみ、それぞれの面白さを感じる

4歳：自分のやりたい活動に取り組み、経験を広げ試したり、工夫したりする。

5歳：友達と積極的に体を動かす活動に取り組み、充実感や達成感を共に味わう。



テラスで靴を履きながら「鬼ごっこしよ」「いいよ」「おにきめやりたい」「おにきめ・おにきめ」「いれて」「いいよ」「おにきめね」「ぼくもやりたい」「〇〇君はだめ。あしが速いから追いかけるのはダメね。逃げる人ね」「ぼくは入らない。うまきさんを応援してる」

近くで話を聞いていると、遊びを始める人がいて、仲間に入る人がいて、違うことを選ぶ子もいて。こうやって鬼ごっこ一つとっても様々な人間模様があって、その中で友達とどうやったら楽しめるのか、どういったら笑ってくれるのか、脳をフル回転しながら遊んでいるのだなあと感じました。



運動会に飾るお花をテラスで作っていた先生のもとに、興味をもった女の子が2人、手伝ってくれました。「しりとりする?」「……」もくもくと手を進める2人。約1時間、集中して作ってくれました。その後も年長さんの女の子が入れ替わりながら慣れた手つきで作ってくれて、こんなにたくさんできました。

みんなで作ったお花、入場門に飾ります!お楽しみに。



年長さんも鬼ごっこに多数参加。運動会に向けて動きが機敏になり、スピードが速い速い。さすが年長さんです。山に登って周りを見渡す余裕もあります。





「園長先生見て!」と地面に描いた線を見せ
てくれた年少さん。「すごい。線路みたいだ
ね」と声をかけると無言だったので、(あ、
違ったかな)と反省しつつ、ついていくと、
「こうやって描いたの」と教えてくれました。
手押し車に積み木を乗せ、体重を下にかけ、
くっまりと2本の線を描いています。職人のよう
です。途中で出会った友達に、「線路なの」と
言っていたので、ひとまず安心しました。



砂場では、大きなケーキのようなものをシャベルでエイとつぶした年少さんに「つぶさないで」と声を
かけた年中さん。「〇〇君がせっかく作ったんだから」と理由も伝えていました。申し訳なさそうな表情
の年少さん。もう一つあったケーキのようなものはつぶさずに、その場から立ち去りました。遊びの中で、
こういう経験を通して、友達の気持ちに気づいたり、どう伝えたらいいのが考えたりするんですね。
近くではざるを通して世の中を見ている年少さん。どんな風に見えるのかな。



「動かない。どーやったら動くんだ!」重
い切り株を、どうにかして動かそうと地面
を引きずっている年中さん。声をかけよう
か迷っていると、ガタガタと動かして、底
を浮かせて回すことに成功! 偶然の賜物
だったが、こうやっているんなことに気づ
いて、自分の枝になっていくのですね。



「ナメクジいるの。見て!」見
に行くと、カップの水の中に。葉っぱ
と一緒に大切にに入れてあって、愛精
を感じるが、水没しているので、苦
しそう。「かわいいでしょう」「か
わいいね。ちょっと苦しそうかな」
ナメクジには悪いけど、あとは子ど
もたちには任せよう。



葉っぱの上にいるナメクジ。
生還したと思いたい。



この中に大事に収まっています。